

目次

1章 腎臓の解剖および腎病理の基本概念とその手法	1
1. 腎臓の解剖および腎病理の基本概念とその手法	3
正常解剖	3
腎組織の検査	9
腎構造の病理学総論	12
腎疾患の発症機序	15
2章 ネフローゼ症候群を呈する糸球体疾患	19
2. 慢性腎症	21
病理所見	22
病因／発症機序	25
臨床と病理の相関	27
3. 膜性増殖性糸球体腎炎とC3腎症	29
はじめに／臨床背景	29
病理所見	30
病因／発症機序	37
臨床と病理の相関	38
4. 微小変化群と巣状分節性糸球体硬化症	41
はじめに／臨床背景	41
病理所見	41
病因／発症機序	46
臨床と病理の相関	48
二次性とそのほかのFSGSの亜型	50
3章 腎炎症候群を呈する糸球体疾患	55
5. 感染後糸球体腎炎	57
はじめに／臨床背景	57
病理所見	58
病因／発症機序	61

臨床と病理の相関	62
6. IgA腎症とIgA血管炎(ヘノッホ・シェーンライン紫斑病)	65
はじめに／臨床背景	65
病理所見	66
病因／発症機序	70
臨床と病理の相関	70
7. 菲薄基底膜病とアルポート症候群	75
アルポート症候群	75
菲薄基底膜病	79
4章 全身疾患に伴う腎病変	83
8. ループス腎炎	85
はじめに／臨床背景	85
病理所見	87
さらなる試み	96
病因／発症機序	97
臨床と病理の相関	98
9. 半月体形成性糸球体腎炎と血管炎	103
はじめに／臨床背景	103
抗糸球体基底膜病	105
Pauci-immune型のANCA関連糸球体腎炎および血管炎	108
結節性多発動脈炎	112
川崎病	114
大動脈炎	114
5章 血管病変	119
10. 腎硬化症と高血圧症	121
動脈硬化性腎硬化症	121
コレステロール塞栓症	124
強皮症(進行性全身性硬化症)	126
11. 血栓性微小血管症(TMA)	131
はじめに／臨床背景	131

病理所見	131
病因／発症機序	134
臨床と病理の相関	136
12. 糖尿病性腎症	139
はじめに／臨床背景	139
病理所見	139
病理分類	144
病因／発症機序	146
臨床と病理の相関	147
6章 尿細管間質病変	149
13. 急性間質性腎炎	151
はじめに／臨床背景	151
一般的な病理所見	151
病因／発症機序	153
臨床と病理の相関	154
14. 慢性間質性腎炎	157
はじめに／臨床背景	157
病理所見	157
病因／発症機序	159
15. 急性尿細管壊死	163
はじめに／臨床背景	163
虚血性急性尿細管壊死	164
中毒性急性尿細管壊死	167
7章 形質細胞疾患に関連した腎病変	169
16. ベンスジョーンズ蛋白円柱腎症	171
はじめに／臨床背景	171
臨床所見	171
病理所見	172
発症機序	173

17. 単クローン性免疫グロブリン沈着症	175
はじめに／臨床背景	175
軽鎖沈着症／重鎖沈着症	175
病理所見	175
病因／発症機序	178
18. アミロイドーシス	181
はじめに／臨床背景	181
病理所見	181
病因／発症機序	183
19. 二次構造を呈する沈着を伴うほかの疾患	187
はじめに	187
細線維性糸球体腎炎	187
イムノタクトイド糸球体症	189
臨床との相関	189
8章 腎移植病理	191
20. 移植腎拒絶反応	193
急性細胞性拒絶反応	195
急性抗体関連型拒絶反応または急性液性拒絶反応	199
超急性拒絶反応	203
後期移植腎喪失	203
慢性抗体関連型拒絶反応または慢性液性拒絶反応	204
21. カルシニューリン阻害薬毒性, ポリオーマウイルス, 原疾患再発	215
カルシニューリン阻害薬毒性	215
ポリオーマウイルス	218
原腎疾患再発	220